

# 発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全2枚)

氏 名 荒 谷 啓 一

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
1			<p>北陸新幹線加賀温泉駅開業記念プレイベント開催事業について</p> <p>「北陸新幹線開業に向け、官民が一体となり市民総参加のイベントを開催し市民全体の機運醸成を図る」としているが、多くの市民の方々に参加していただく提灯行列などは、各地区や各種団体などに対し、どのような形で協力を依頼していくのか。</p> <p>また、市内全域で開業機運を盛り上げ、市内外への情報発信の強化を図るためには、加賀温泉駅周辺だけでなく、3温泉での地元関連イベントなどに対しても、積極的な推進と支援を図るべきと考えるが、所見を問う。</p>	
2			<p>水泳プール整備事業について</p> <p>山中温泉ゆけむり健康村の水泳プールが廃止となったこともあり、本事業の関心は高い。屋内プールはオールシーズンで利用できる施設であることから、新たに整備する場所は、アクセスの良くない加賀市中央公園から未来型商業エリア周辺に移す方向で検討を始めるべきと考えるが、所見を問う。</p>	
3	(1)		<p>加賀依緑園条例について</p> <p>名称と入館料について</p> <p>設置目的や施設の名称、事業内容、指定管理業務、入館料、利用料金などが設定されたが、「加賀依緑園」の名称の決定経緯を問う。</p> <p>また、入館料の対象エリアは本館、客殿、庭園など、どこの部分が対象となるのか。</p>	
	(2)		<p>金唐革紙と指定管理について</p> <p>全国的にも貴重な本館の「金唐革紙」については、大いに発信していくべきであると考えますが、その制作工程の解説や資料コーナー設置の有無と、今後の指定管理者選定の日程を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

氏 名 荒 谷 啓 一

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
4	<p>山中温泉ゆけむり健康村について</p> <p>8月の総務経済委員会で再生企画提案書が提出され、概算事業費が約4億8,000万円で、核となる温浴施設などの第1期工事が来年8月の完成予定などの内容であった。総務経済委員会では、概算事業費の市負担分と、施設は譲渡か売却かの2点について、早急に協議すべきとの結論であった。</p> <p>関心のある方々にとっては既に、新聞報道の「温浴施設を整備」「温浴施設は来年8月完成」というタイトルのみが一人歩きしている。事業の進展には懸案事項2点の方針決定が大前提と考えるが、協議の現状と見通しについて、所見を問う。</p>	
5	<p>加賀市消防団について</p> <p>先月の新聞報道で、「県内の市町で消防団員の数が定数を満たしていない状況が続いている。70年間で充足率が100%を超えたことは一度もなく、2021年度以降は初めて90%を割り込んだ。県や各市町は、報酬の引き上げや団員の負担になるとされる消防操法大会の見直しを進めており、『地域防災の要』の深刻ななり手不足に歯止めを掛けたい考えだ」という記事があり、「県消防操法大会に向けて訓練の成果を披露する消防団員＝7月、加賀市消防本部」という説明の写真が掲載されていた。</p> <p>加賀市消防団における、団員の充足率と報酬の現状、市消防団総合訓練に対する認識を問う。</p>	
6	<p>加賀市子育て応援ステーション（かがっこネット）について</p> <p>市内の児童センターは、子供の不登校や貧困問題が多様化、複雑化する中、様々な事情を抱える子供たちの「居場所」づくりの場として、重要な役割を果たしているが、学校をはじめ、加賀市教育総合支援センターや子育て応援ステーションとの連携は不可欠である。その日の食事に困る子や家庭内の事情で困惑を感じている子、ヤングケアラーなどの問題は、特に子育て応援ステーションの「寄り添い」の体制に一層の充実が求められている。</p> <p>児童センターだけでは、実態が見えにくく捉えづらい課題に対応するために、子育て応援ステーションの人員増など、さらなる体制強化を図るべきと考えるが、所見を問う。</p>	